2023年 9月号

ぴらたんニュース

京都にちなんだ
話題をお届けします
京style

～重陽の節句～

一年には五節句がありますが、その一つが9月9日の重陽の節句です。陰陽道の考えでは、奇数は縁起の良い陽の数字とされ、9はなかでも最も大きな奇数です。それが2つ重なるめでたい日に、宮中では、邪気を払い長寿を願う行事が行われていました。（陽の数字が2つ重なると不吉とされ、それを払うためという説も）

京都では今も、寺院や社寺で様々な神事があり、十三参りで有名な法輪寺の重陽の節会では、菊慈童人形の奉納が行われています。菊慈童とは、能の曲にもなっている中国の伝説です。名を菊慈童という王の小姓が、王の枕を越えた罪で虎や狼の住む僻地に流されてしまいます。王は哀れに思い、菊の葉に経典の2句を記して渡します。菊慈童はそれを毎日唱えていたのですが、ある日その菊の葉に露が溜まり、川に落ちてしまいました。その後、その川の水を飲んだ村人は病気もせず長寿になり、菊慈童も何故か子供のまま700年も生きたというお話です。その時から菊の不思議な力にあやかり、長寿祈願を願う宴が行われ、重陽の節句が始まったといわれます。法輪寺では本堂の菊慈童像に菊の花を供え、延命息災と不老長寿を祈ります。謡と舞の奉納もあり、山腹の寺院に趣を与えます。

HIRAIWA

学校の象徴に欠かせない 学校旗
消防団の士気に欠かせない 消防団旗
勝利の証に欠かせない 優勝旗

【取扱商品】
社旗　横断幕　販促のぼり旗　のれん　応援団用品
祭り袢天　山車幕　神社寺院幕　神社のぼり旗　鈴緒
劇団幕　舞台幕　演台カバー　マーチングバンド横幕

株式会社 平岩
〒604-0907　京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241
TEL ：075-222-1041 / FAX：075-222-0843
MAIL：web@kyoto-hiraiwa.co.jp
今すぐアクセス！ 京都 平岩

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください